

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年8月14日～8月18日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
8月14日	雨水移送用耐圧ホースからの水の滴下事象に対する対策状況の確認	—	○6月29日に雨水設備の耐圧ホースより水が滴下した事象について、対策状況を聞き取りした。 応急対策として、耐圧ホースの外傷部を止水テープで養生し、水の滴下を止めており、現在は撤去済みとのことであった。また、恒久対策として、タンクエリア内の耐圧ホースをPE管に切替えるとのことであり、順調に進めば今年度中に切替えが完了するとのことであった。	11時57分現在
	既設多核種除去設備処理水受けタンクの雨水移送配管の設置状況の確認	既設多核種除去設備処理水受けタンクエリア	○既設多核種除去設備処理水受けタンクエリアの雨水移送配管の設置状況を確認した。 堰内の北西端及び南東端の2箇所水中ポンプがあり、ポンプで集水された雨水はPE管を通してK1南エリアの堰内へ移送されていた。 上記のとおり雨水の移送ルートを確認することができた。	
8月15日	高性能・増設多核種除去設備処理水受けタンクエリアの雨水移送配管の設置状況の確認	高性能・増設多核種除去設備処理水受けタンクエリア	○高性能・増設多核種除去設備処理水受けタンクエリアの雨水移送配管の設置状況を確認した。 堰内の四隅に水中ポンプがあり、ポンプで集水された雨水はPE管を通してエリア西側にあるノッチタンクに移送されていた。当該ノッチタンクには排出用の配管が敷設されていたが、調査時、タンクの出口弁は「閉」の状態で見られた。 上記のとおり雨水の移送ルートを確認することができた。	11時46分現在
8月16日	Fタンクエリアの雨水移送配管の設置状況の確認	Fタンクエリア	○Fタンクエリアの雨水移送配管の設置状況を確認した。なお、Fタンクエリアは、A・Bタンク、Cタンク、H～Kタンクの3ブロックから構成されているが、今回はA・Bタンク及びCタンクについて確認を行った。 A・Bタンクの堰内雨水は、水中ポンプで集水され、エリア西側にあるノッチタンク又は鋼製円形水槽に移送されていた。ノッチタンク等には散水用の耐圧ホースが1本ずつ敷設されており、タンク等に溜まった雨水は、他のタンクや堰に移送されることなく、そのまま散水される構造となっていた。 Cタンクの堰内雨水は、水中ポンプで集水され、堰内のノッチタンクに移送されていた。当該ノッチタンクにも散水用の耐圧ホースが1本敷設されており、タンクに溜まった雨水は、他のタンクや堰に移送されることなく、そのまま散水される構造となっていた。 上記のとおり雨水の移送ルートを確認することができた。	11時55分現在
8月17日	5号機タービン建屋研修	5号機タービン建屋	○東京電力社員から5号機タービン建屋の構造や機能等に関する講習を受けた。	14時34分現在
8月18日	固体廃棄物貯蔵庫第6、7、8棟の状況確認	固体廃棄物貯蔵庫第6、7、8棟	○6月以降、固体廃棄物貯蔵庫において、結露水の影響により火災感知器が発報する事象が頻発したことから、固体廃棄物貯蔵庫第6、7、8棟における結露水の発生状況等を中心に現況を確認した。 固体廃棄物貯蔵庫第6～8棟の地上階は湿気もあまりなく、結露水の発生は確認されなかった。一方、地下1階及び2階は湿度が高く、通路全体が濡れており、天井の一部には結露水が付着していた。また、保管ドラム缶の一部にも結露水が付着していることを確認した。 結露水の火災感知器発報対策として、地下2階のエアカーテンの設置、地下1階天井開口部の閉塞及び火災感知器の更新作業が進められていることを確認した。	10時43分現在

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。